

波賀中だより

宍粟市立
波賀中学校
2024.10.31
10月号



つながる力と学び続ける力の育成について

教頭 中井孝一郎

木々が色づき始め、ようやく秋の深まりを感じる季節となりました。

世間では、衆議院の解散・総選挙があり、十一月には、知事選も控えています。十八歳になれば成人となり、選挙権も行使できるようになるため、生徒たちも数年後には有権者となります。自覚を持ってしっかり判断し、行動できるようにしてもらいたいと願っています。

生徒たちが成人する頃には、先の見通しがつかない曖昧で不確実で変化の激しい社会になると言われています。すでに、突然の災害や地域紛争、気候や経済の変動など、誰も予測できなかったことが次々と起こっています。そのような社会の中で自立した大人として生き抜いていくためには、「誰かとつながり協力する力」と「学び続ける力」が必要だと考え、日々の教育にも取り組んでいます。

先日、校内授業研究会で道徳の授業を観る機会がありました。生徒たちの成長を感じることもありましたが、紹介しました。七年生の道徳で「地下鉄で」という資料を使って、「思いやり」や「感謝」について学びました。

内容は、混雑する地下鉄の中で、大きな紙袋を下げて立つおばあさんのために、二人の中学生が席を確保して席を譲り、去っていくという姿を見ていた主人公が、心を動かされるといった内容です。なぜ中学生はそのような行動をとったのか、自分ならどう考え、どのように行動するか意見交流を行いました。ある生徒は「まず、おばあさんに声をかけ、近くの席を譲って

たずねる。もし譲ってもらえない場合は、おばさんの荷物を持つ」と意見を書いていました。また、「高齢者が優先的に座れる『優先席』を作ればよいのではな

いか」と、鉄道を運営する企業側の責務について発言している生徒もいました。

このような生徒たちの姿を目の当たりにして、「波賀中のこどもたち」は本当に心優しく、素直に育っているということを改めて感じ、うれしく思いました。そして、生徒たちは「誰かとつながり協力する力」をすでに持っていると思いました。

次に、未来を生き抜いていく力として、「学び続ける力」を養う必要性も感じています。社会の変化についていくためには、新しい知識を身につけ、自分自身を変えていかなければなりません。「学び続ける力」と聞けば、何やら苦行の連続に耐える力というようなイメージをもってしまうのですが、そうではなく、「何かに夢中になる力」、「探究する力」のことではないかと考えています。その力を養うためには、興味や関心を持つことに積極的に挑戦することが必要でしょう。

現在、九年生は地元宍粟市の魅力を伝える「ふるさとカレンダー」の制作に取り組んでいます。七年生は「ものづくり体験」、八年生は「波賀森林鉄道」に関する学習や体験に出かけます。そして、来月九日に実施予定の文化祭に向けて、合唱や出し物、英語スピーチや吹奏楽部の演奏などの練習をしているところです。波賀中生徒の挑戦する心として根付いてくれることを願っています。

さて、生徒が個々に様々な力をつけても、それぞれの生徒が「表現」して「発信」していく力をさらに磨いていく必要性があります。生徒が発表などをしている際、しばしばうまく説明できず、単語だけで伝えようとしている場面を見ることがあります。今後は、さらに表現力を高めるため、教科の枠を越え、様々な場面でペアや班で活動する場面を設定し、自分の考えを仲間と交流し、表現力を高めていきたいと考えています。

地域の方々、保護者の皆様におかれましては、生徒たちと接する機会に、今どんなことに挑戦しているのか、取り組んでみてどうだったかなど、生徒が自分自身の考えを話す場面を積極的に作っていただければ幸いです。

今後も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆英語落語鑑賞会◆

七年 〇〇〇〇

今日、英語落語を鑑賞して、落語自体もとても面白かったけれど、最後にダイアンさんが「小さな夢でも、夢があれば貪欲になれたり、人生が楽しくなったりする」と言っておられたのを聞いて、確かにそうだなと思いました。自分も夢があるので、それに向かって頑張ろうと思いました。

八年 〇〇〇〇

英語落語を初めて聞いて、思っていたよりも話をされていることが理解でき、ダイアンさんの表現力が凄いと感じました。僕は、落語は知っていたけれど、実際に見たり聞いたりしたことは無かったので、今日実際に見ることができてよかったです。英語が苦手な僕でも理解して楽しく見ることができました。ダイアンさんは、表情が豊かでどんな気持ちなのかがわかりやすかったです。話の内容も面白かったので、テレビとかでやっていたら見てみたいです。

《赤い羽根共同募金のお礼》

募金額 一、三〇九円

皆様方よりあたたかいご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

【表彰の記録】

《兵庫県中学校総合文化祭》

書写部門 特選 九年 長井 芽依

美術部門 特選 九年 久保 四季

入選 八年 瀧川 日菜

入選 七年 岡田 真依

《宍粟市民柔道大会》

《中学校駅伝競走大会》

中学生三年男子の部 優勝 九年 尾前 大翔

三位 九年 西中 瞳真

《中学校駅伝競走大会》

男子一区 二位 九年 一野 良輔

三区 一位 八年 可藤 響生

四区 二位 九年 田路 雄梧

十一月の行事予定

一日(金) 中間テスト二日目

三日(日) 文化の日

四日月) 振替休日

五日(火) 文化祭りハーサル ノー部活デー

六日(水) スクールカウンセラー来校

七日(木) 九年生生け花教室

八年生ふるさと学習

(フォレストステーション波賀)

七年生ものづくり体験学習

九日(土) 文化祭

十一日(月) 振替休業日

十二日(火) ノー部活デー

十三日(水) 八年生ふるさと学習(音水溪谷森林鉄道)

スクールカウンセラー来校

十五日(金) 九年生到達度テスト

十九日(火) 九年生進路説明会 ノー部活デー

二十日(水) スクールカウンセラー来校

二十三日(土) 勤労感謝の日

二十五日(月) 家庭学習週間(～二十九日)

二十六日(火) テスト前部活動停止(～三十一日)

二十七日(水) スクールカウンセラー来校



◆各部活動より新チームの抱負◆

野球部

主将 ○○○○

僕たち野球部は、総体で九年生が引退し、今は一宮北中学校と合同で活動しています。波賀中だけでも八年生六人、七年生八人の合計十四人います。一宮北中学校も入れると全員で十七人になります。他の部活動と比べてもとても多いので、その人数の多さを活かしたいと思います。僕たちの今年の目標は、西播大会優勝です。去年は市大会で負けてしまい、一度も西播大会に出場することができず、とても悔しい思いをしました。その悔しさを糧に、今年は西播大会に出場して、最後は優勝できるようにチームになりたいと思います。



男子バレーボール部

主将 ○○○○

今までたくさんのことを教えてくださった先輩方は引退されました。僕たち八年生がチームのリーダーとなり、支え、助け合いながら頑張りたいと思います。

僕たち男子バレーボール部は、九年生が引退して現在、八年生二人、七年生二人の計四人で活動しています。僕たちが大切にしていることは、「ポジティブ」ということです。僕たちの中でバレーボールという競技は、ミスをする点と一点という大きな失点をしてしまいうけれど、そのミスを「ポジティブ」に受け取ると、必ずどこかで取り返せると思っています。西播新人大会には参加できませんでしたが、次に出場ができる大会に向けてしっかりと練習に励んでいきたいと思っています。

次は約三ヶ月間です。少人数なので、できることは限られています。しっかりと仕上げたいと思います。そしてその練習の中でも「ポジティブ」ということをこれからも大切にしていきたいと思っています。

女子バレーボール部

主将 ○○○○

私たち女子バレーボール部は、七年生五人、八年生二人の計七人で、夏休みから単独チームとして活動しています。少ない人数ですが、一人一人が意識して声を出して、試合では全員でチームを盛り上げて、良い雰囲気を作って練習に励んでいます。



今回の新人大会では、惜しくも西播大会へは出場できませんでしたが、公式大会でしか味わえない緊張感や、得点を入れたときの喜びや、相手に得点が入ったときの悔しい気持ちなどを味わうことができました。ボールを一生懸命追いかけて、プレーを繋ぐことができたときの達成感は、チームにとって初の体験で、良い経験になりました。この経験を糧にして、七年生はさらに技術面の向上をめざし、私たち八年生はチームの課題を見つけて改善していき、良い雰囲気を保てるように、いつでも声かけを意識していきたいです。冬には西播大会、そして春には市北部大会があります。これからも努力を積み重ねていき、一人一人がコートの中で自信をもってプレーできるように頑張りたいです。



僕たち男子卓球部は、九年生が引退して人数が四人になってしまい、団体戦で勝ち進むことが難しくなりましたが、個人戦で一つでも多く勝ち進めるように、日々練習を続けています。

男子卓球部

主将 ○○○○

今回の市新人大会では、団体戦でも個人戦でも勝進めず、悔しい結果となってしまいました。しかし、団体戦では、普段は試合をしない学校と対戦することができ、相手の良いところの真似をしたり、今できていない課題を各々見つけたりすることができました。今回見つかった課題を克服して、次の大会で良い結果を残せるように毎日頑張りたいです。

冬には北部大会、七年生の西播一年生大会があります。それまでの期間にも練習試合や毎日の練習を真面目に取り組み、課題を一つずつ克服していききたいと思います。強いチームに当たり苦戦することもありますが最後まで諦めずに頑張っていきたいです。



女子卓球部

主将 ○○○○

私たち女子卓球部は、人数が少ない中、切磋琢磨し合っている練習に励んでいます。先輩方が引退された夏休みからは、他校に練習試合に行ったり、合同練習に参加したりして、技術を磨いてきました。新人大会では、人数が足りず団体戦には出場できませんでしたが、個人戦では、練習した成果が発揮できず、悔しい思いをしました。

た。だから、今まで以上に基礎練習に励み、次の大会は良い成績を残したいです。

私たちが他校に負けていないところは、「最後まで諦めない根性」です。これからも点数差が開いても、最後まで諦めずプレーすることを心がけていきたいです。

今日の私たちがいるのは合同練習や練習試合の予定を組んでくださる先生方、送迎やいつも私たちを支えてくださる保護者の方々のおかげです。その方々の支えがなければ今の私たちはありません。新人大会で分かった課題を克服できるように、日々の練習を頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。



◆9年生 高齢者疑似体験◆

○○○○

今日は、高齢者疑似体験をしてみて高齢の方の気持ちを感じてきました。はじめはそれほどしんどいものだと感じていなかったけれど、自分が付けてみると腕や足は重く、腰は痛くなりとてもしんどかったです。ヘッドフォンも音が濁っていて、はつきり聞き取ることができなくて、もどかしかったです。また、目も見えづらかったので、自分がこのまま過ごすとなったら、いつも通りには過ごせないだろうなと思ったので、これから高齢の方が困っていたら積極的に助けたいと思います。

